

2021年4月8日

## 第2回第3次中央生態環境保護に関わる監査について

### 1. 3月30日付公開情報について

中央生態環境保護監査の担当部署から、第2回第3次の中央生態環境保護監査を実施するにあたり、監査対象となる省に対して事前に通達が発出されました。通達では、当局の政策を確実に実施し、監督と改革を同時に積極的に推進すること、民間からの電話や手紙などの情報の受付に関わる作業の負担を含めて、監査人員の作業を簡素化・軽減すること、等を盛り込んでいます。

### 2. 4月6日付公開情報について

中国生態環境部は第2回第3次の中央生態環境保護監査を全面的にスタートすると公表しました。山西、遼寧、安徽、江西、河南、湖南、広西、雲南の8つの省に対して、8つの監査グループに、それぞれ次のおりグループリーダー、副リーダーを配置して、約1ヶ月間の査察を行います。

グループ	省	グループリーダー	副リーダー
第一グループ	山西	吳新雄	林山青
第二グループ	遼寧	朱之鑫	刘焯
第三グループ	安徽	刘伟平	李春良
第四グループ	江西	宋秀岩	赵英民
第五グループ	河南	杨松	张雪樵
第六グループ	湖南	徐敬业	叶民
第七グループ	広西	李家祥	翟青
第八グループ	雲南	焦焕成	翟青

査察期間中、各監査グループは、監査対象企業の生態環境保護に対する民間からの意見を、手紙や電話を通じて受け付けることができるように、専用の受付電話と郵便箱を設置しました。

### 3. 第2回の中央生態環境保護監査について

第2回の中央生態環境保護監査は2019年から2021年までの3年間に行う計画で、第1次の監査は2019年1月に、第2次の監査は2020年8月に実施され、今回が第3次の監査です。2022年には第2回監査の「振り返り」(フォローアップ)査察を実施する予定です。過去の事例によれば、環境監査の期間中、監査地域の化学工場は生産を一時停止する場合があります。2020年8月の監査時は季節が夏であり、メーカーが定修のために生産を一時停

止する計画だったため、それほど大きい影響はありませんでした。

4. 今回の監査の影響について

具体的な監査スケジュールが開示されておらず、監査が開始されたばかりなので、現時点では弊社の案件に影響は出ておりませんが、生態環境監査を実施することから、化学工場が生産の一時停止などの措置を行うことが考えられ、影響を受けることがあり得ます。弊社では、メーカー情報を詳しく調査し、弊社の扱う製品の納期等に影響を及ぼすおそれがある時は、至急報告いたします。

新しい情報が入りましたら、随時配信させていただきます。

参考：

<https://baijiahao.baidu.com/s?id=1696315503812517315&wfr=spider&for=pc&qq-pf-to=pcqq.c2c>

以上